工事店さまへのお願い

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

TOTO

食器洗い乾燥機用給水栓（給湯分岐ユニット）

EUDB904
(TN600ー1型)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工・取扱説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。この施工・取扱説明書は大切に保存しておいてください。

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

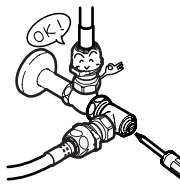
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

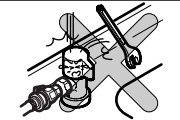
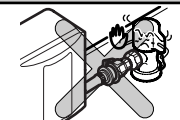
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

分解禁止	**この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない** 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
必ず実行	**止水栓またはバルブを開くときは、必ず食器洗い乾燥機の給湯ホースを接続したあと、行う** 給湯ホースを接続する前に止水栓またはバルブを開くと、高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 注　意

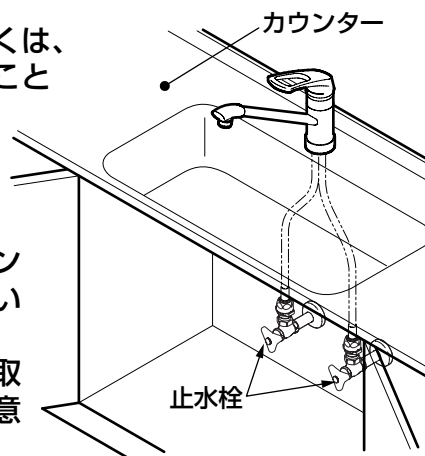
禁　止	**食器洗い乾燥機以外は使用しない** 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	凍結が予想される場所に設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
必ず実行	**70℃以上に設定された給湯器を使用の場合は、必ず給水接続で使用する** 給湯接続で使用すると、食器洗い乾燥機の故障の原因になります。	

2 仕様

項目		仕様
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa（流動圧）
	最高水圧	0.75MPa（静水圧）
使用最高温度		70℃未満
使用可能水質		水道水
使用環境温度		1～40℃
用　途		一般住宅台所用

3 取り付け前に

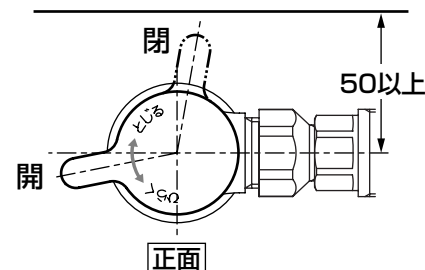
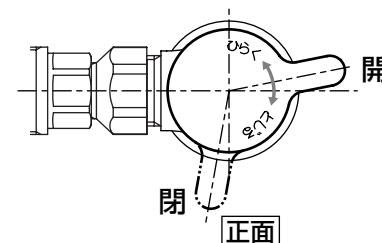
●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.75MPa以下に減圧してください。

●カウンターの材質がステンレスもしくは、人工大理石（御影石調除く）であることを確認してください。天然大理石、ホーロー製カウンターには穴あけ加工ができないことがあります。

●取り付けには止水栓が必要です。シンク下の扉を開けて、止水栓が付いていることを確認してください。
止水栓によっては同梱の分岐金具が取り付かないことがありますのでご注意ください。

●カウンター下の空間との取り合いを見て、穴あけに支障がないことを確認したのち食器洗い乾燥機を仮置きし、取付穴位置を決めてください。
穴あけ後は切りくずが出るため、カウンター周辺を片付けてください。

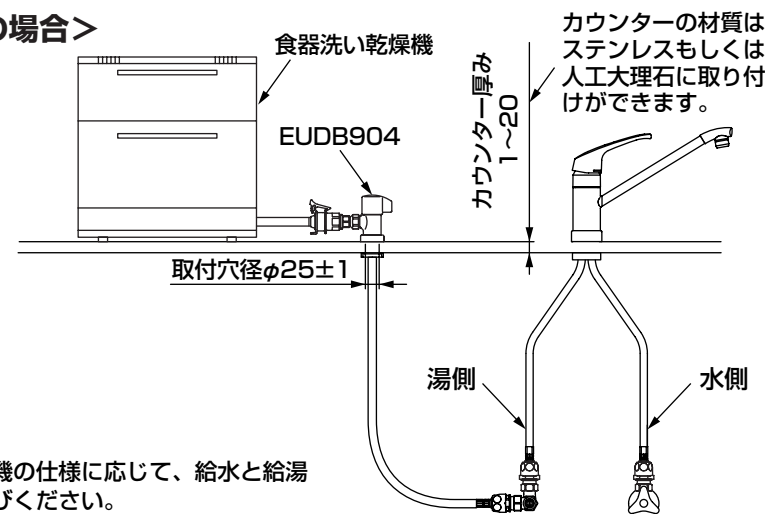
●お客様に穴あけ加工の説明を事前に行ってください。

●通水検査をしていますので水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

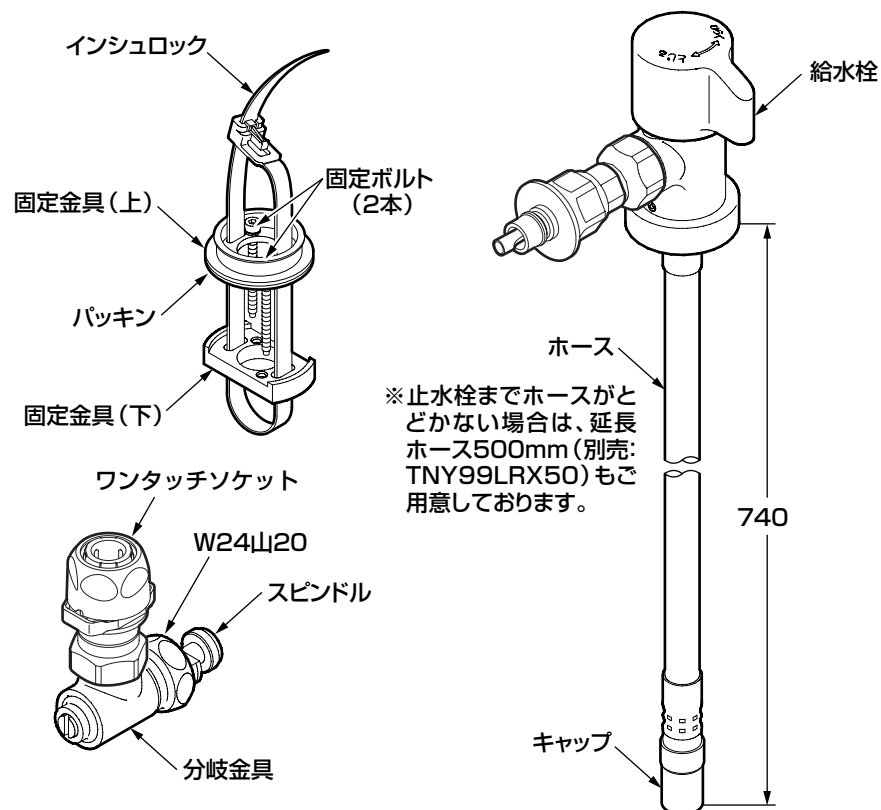
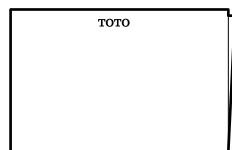
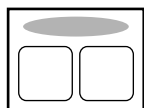
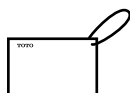
●分岐金具の右側に食器洗い乾燥機を設置する場合は、分岐金具のハンドルのレバー部が後方になります。穴あけ加工の際は、レバー部の干渉にご注意ください。

分岐金具の **右側** に食器洗い乾燥機を設置する場合

分岐金具の **左側** に食器洗い乾燥機を設置する場合

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

＜給湯接続の場合＞

※食器洗い乾燥機の仕様に応じて、給水と給湯の接続をお選びください。

5 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

6-1 施工手順

1 元栓を閉じる

8 元栓を開ける

5 給水栓の取り付け

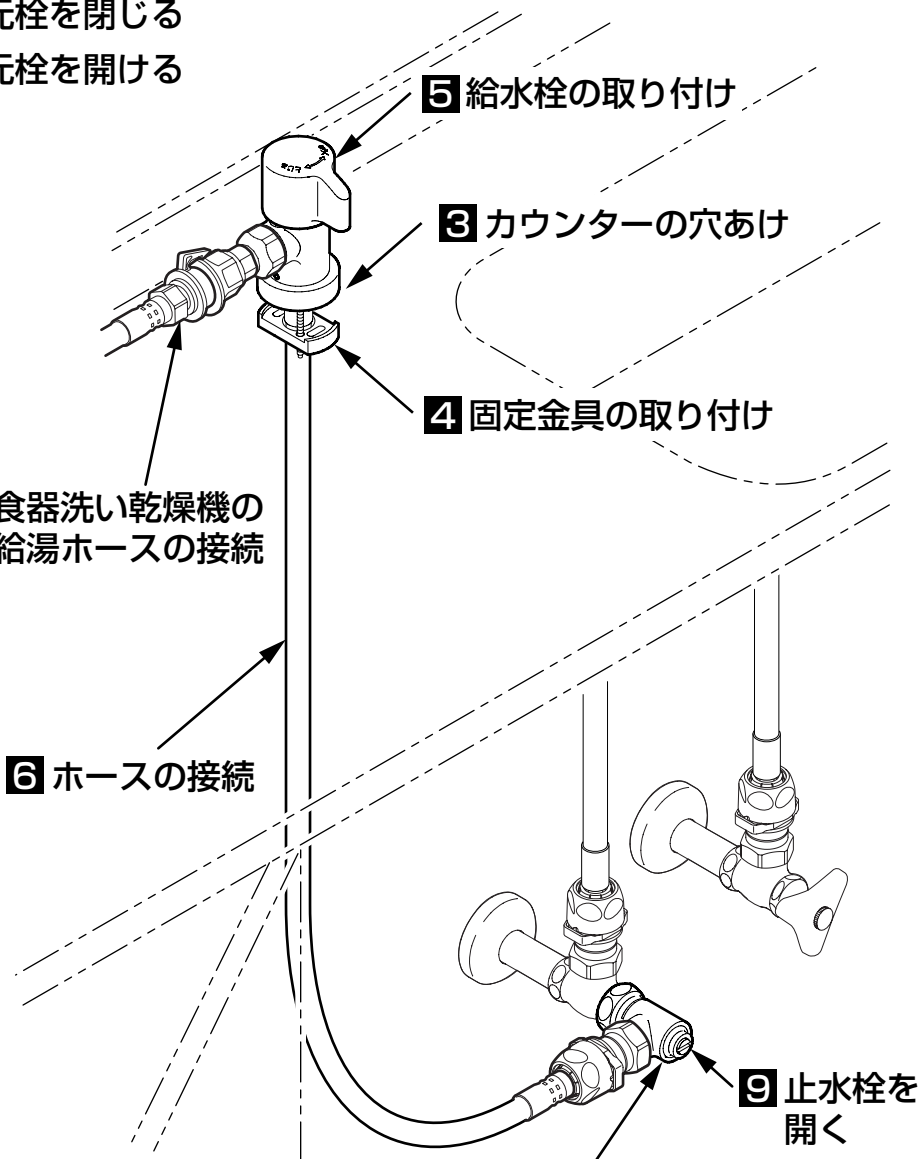
3 カウンターの穴あけ

4 固定金具の取り付け

7 食器洗い乾燥機の給湯ホースの接続

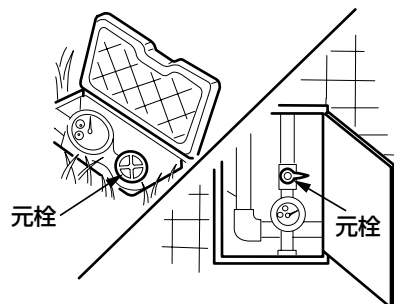
6 ホースの接続

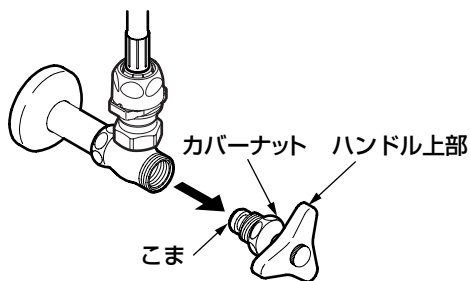
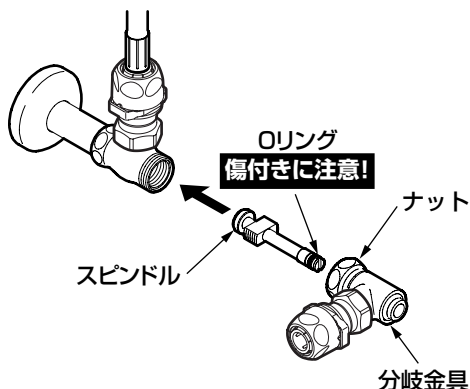
9 止水栓を開く

2 分岐金具の取り付け

1 元栓を閉じる

水道メーターの元栓を閉じる。

注 意

水栓から水が出ないことを確認してから次の要領に従って、作業を行ってください。

2 分岐金具の取り付け

①カバーナットをゆるめ、接続する止水栓のハンドル上部とこまを全部取り外す。

②スピンドルを止水栓本体に取り付ける。

③分岐金具を差し込み、ナット部を締め付ける。

3 カウンターの穴あけ

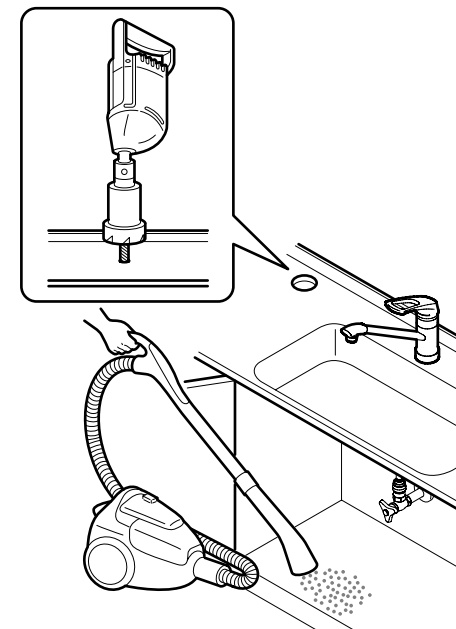
カウンター穴あけ加工上の注意点

- **分岐金具取り付け前に、カウンターの穴あけを行わない** でください。
  止水栓によっては分岐金具が取り付かないことがあります。
- 穴あけ加工の穴径は **φ25±1** です。
- インパクトドライバー・振動ドリルなど、**叩きつけながら加工する工具は使用しない** でください。
- **無理な力で押しつけて、穴あけを行わない** でください。
  カウンターの変形・破損のおそれがあります。
- 電気ドリルまたはドライバードリル **電圧9.6V以上（最大トルク21.6Nm以上）** の工具をお使いください。
- カウンターの材質と厚みに適応した加工工具をお使いください。
- 硬い人工大理石カウンターの場合は、刃が摩耗し加工しにくくなりますので、予備の工具をご用意ください。
- カウンター厚みを考慮し、**深さ30mmに対応できる工具** をご使用ください。

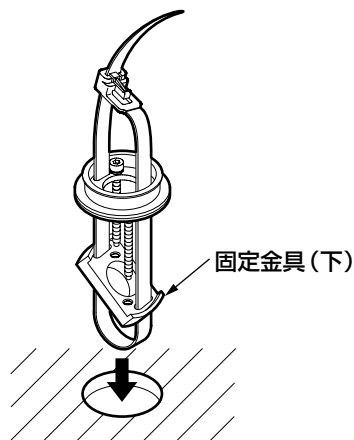
①同梱の「穴あけ加工可否分類」を確認し、カウンターの穴あけを行う。

注 意

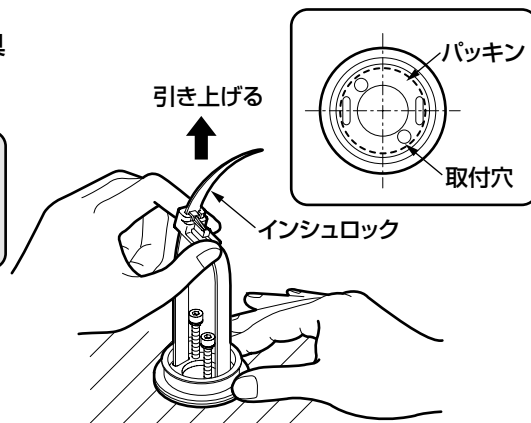
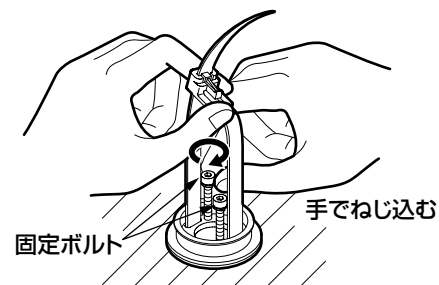
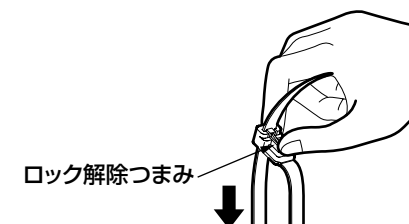
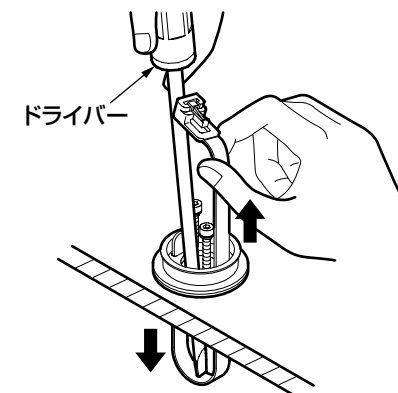
穴あけはゆっくり、ON／OFFを繰り返しながら行ってください。一気に穴を開けますと、高温による煙が出たり、カウンターやホルソーの先端を傷める原因になります。

②穴あけ後、掃除機で切りくずを吸い取る。

裏面へつづく

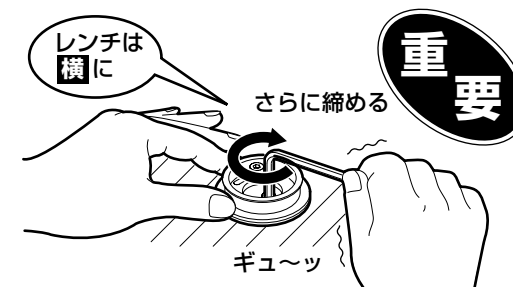
4 固定金具の取り付け

①取付穴に固定金具（下）を差し込む。

②インシュロックを引き上げ、固定金具の中心を合わせる。

注 意

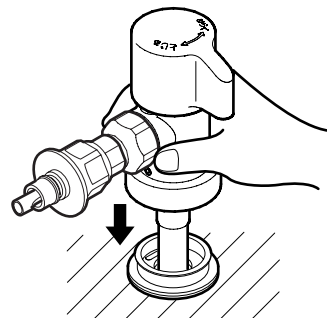
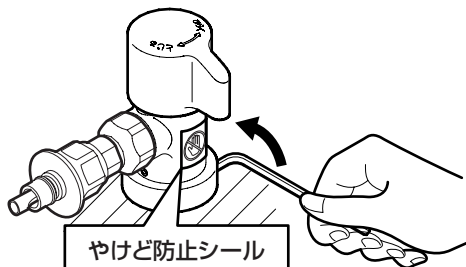
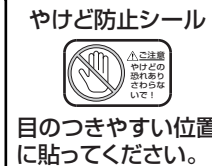
パッキンと取付穴の中心を合わせパッキンがシールするようにしてください。

③固定ボルト2本を仮締めする。

④インシュロックのロック解除つまみをつまんで、インシュロックを外す。

⑤ドライバーなどでインシュロックを押し込む。

⑥インシュロックを引き抜く。

⑦同梱の六角棒レンチを縦にして固定ボルトで締め付ける。

⑧六角棒レンチを横にしてさらに強く締め付ける。

5 給水栓の取り付け

①給水栓をしっかり差し込む。

注 意

ホース先端のキャップは付けたままにしておいてください。

②止めねじをしっかり締め、固定する。

③やけど防止シールを貼り付ける。

ホース施工上の注意点

- ●ホースを **必要以上の力で曲げて 折らないように** 注意してください。
  万一折れた場合は、指でつまんで元どおりにしてください。
- ●ホースの折れに、ご注意ください。
  ホースの **最小曲げ半径は60mm** です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、折れた部分で早期破損を生じる可能性があります。
- ●ホースを **水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで** ください。
- ●ホースを **無理に引っ張らないで** ください。
  ホースが折れる可能性があります。
- ●ホース同士の **不要な接触は避けて** ください。
  外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。

6 ホースの接続

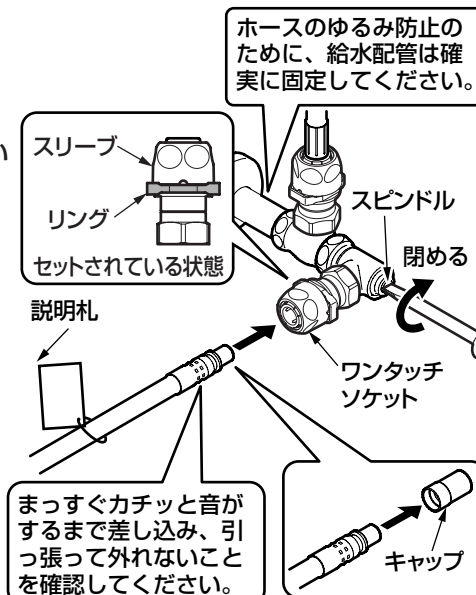
①マイナスドライバーでスピンドルを時計回りに回して止水栓を閉める。

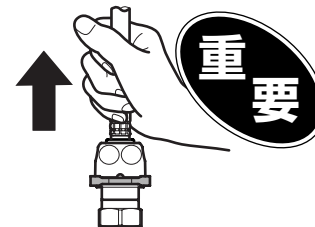
②給水栓のホース先端のキャップを外す。

④リングがスリーブの下にセットされていることを確認する。

④ホースに **異物の付着がないことを確認し、** ワンタッチソケットに **まっすぐ奥まで**（ **カチッ** と音がするまで）確実に差し込む。

確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

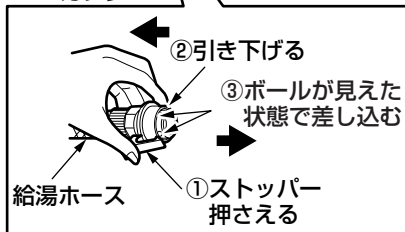
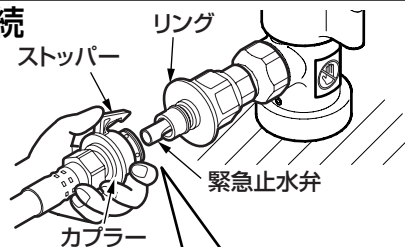
※この際、同梱の「 **ワンタッチソケット取付方法** 」の説明札を必ずホースに通してください。
※ホースを外す場合は、この説明札を参照してください。

⑤ホースを **まっすぐ引っ張って外れない（抜けない）** ことを必ず確認する。

6-5

7 食器洗い乾燥機の給湯ホースの接続

食器洗い乾燥機のカプラーを給水栓に接続する。

※ストッパーの根元を押さえ、カプラーを引き下げ、ボールが見えた状態で緊急止水弁に差し込み、ストッパーをリングに引っ掛けてください。

注意

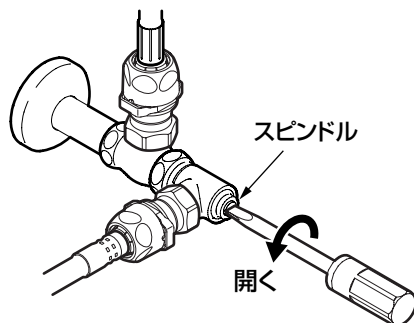
カプラーを横向きに強く引っ張り、抜けないことを確認してください。

8 元栓を開ける

水道メーターの元栓を開ける。

注意

元栓またはバルブの開放は必ず、給水ホースを接続したあとに行ってください。

9 止水栓を開く

分岐金具のスピンドルを反時計回りに回して止水栓を開く。

7 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

水出し確認

給水栓のハンドルを開け、食器洗い乾燥機に通水されるか確認してください。

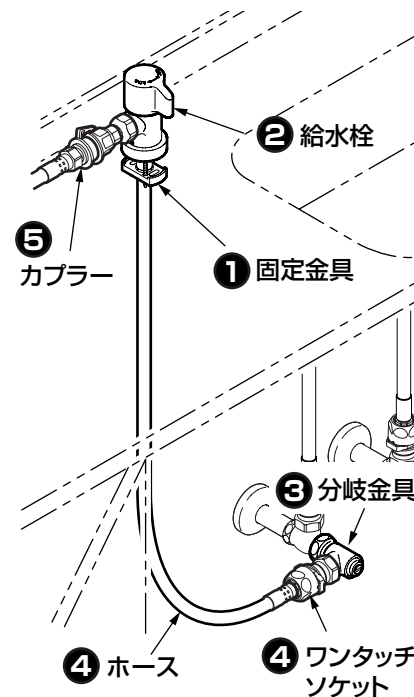
ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❶ 固定金具はカウンターにしっかり固定されていますか？

→ 6-3 ― 4「固定金具の取り付け」参照

❷ 給水栓は止めねじでしっかり締め付けていますか？

→ 6-4 ― 5「給水栓の取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❸ 分岐金具のナット部はしっかり締め付けていますか？

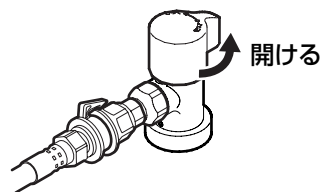
→ 6-2 ― 2「分岐金具の取り付け」参照

❹ ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか?

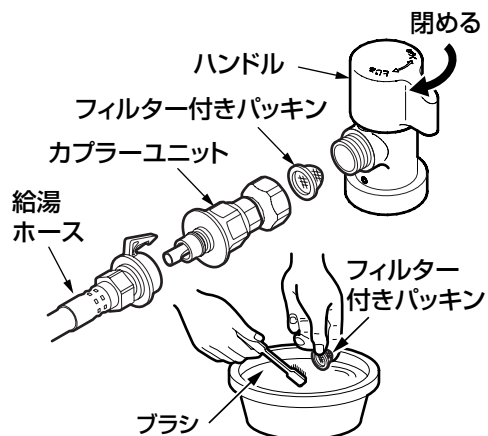
→ 6-4 ― 6「ホースの接続」参照

❺ 給水ホースのカプラーは給水栓にしっかり接続されていますか?

→ 6-5 ― 7「食器洗い乾燥機の給湯ホースの接続」参照

8 日ごろのお手入れ

必ず実行	
	お手入れの際は、安全のために給湯機などの運転スイッチを切り、給水栓が十分に冷えたのを確認し、作業を開始する 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	お手入れの際は、給水栓のハンドルまたは水道メーターの止水栓を閉めたあとに作業を開始する 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	定期的に配管のまわり（ホース接続など）を点検し、水漏れがないか確認する 部品の劣化摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などをぬらすおそれがあります。

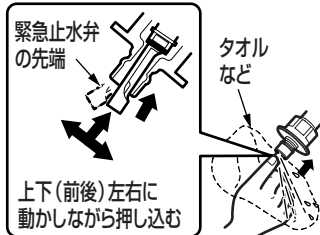
十分な機能を発揮させるため、また、美しさを保つために日ごろのお手入れをお願いいたします。

フィルター付きパッキンのお手入れ

1. 給水栓のハンドルを閉める。
2. 給湯ホース・カプラーユニットを外し、フィルター付きパッキンを取り出す。
3. フィルター付きパッキンに詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。
4. フィルター付きパッキンの向きに注意して給水栓に入れ、カプラーユニットを組み付け、給水ホースを確実に固定する。

給湯ホースが外れた場合の注意

● **開閉ハンドルを閉めて**、緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえてつまみ、上下（前後）左右に動かしながら押し込み、湯を抜いてから給湯ホースを取り付けます。

熱湯が出る場合がありますので注意してください。

●水圧が高くレバーが押せない場合は、継手部をゆるめてから湯を抜きます。
その後、必ず継手部を取り付けてください。

布を使用したお手入れ

●軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。

●ひどい汚れの場合

適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からぶきしてください。

TOTO水あかクリーナーでのお手入れ

水栓の表面に付着した水あかなどの汚れ落としには水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去できる**TOTO水あかクリーナー**のご使用をおすすめします。

お求めに関するお問い合わせ先：
TOTOショールームまたはTOTOパーツセンター

お願い

水栓の表面を傷つけるものは使用しないでください。
- ●TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ●シンナー、ベンジンなどの溶剤
- ●クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ●ナイロンたわし、たわし、ブラシなど

商品のお問い合わせは・・・
TOTO（株）お客様相談室へ
TEL 0120−03−1010
FAX 0120−09−1010

修理のご用命は・・・
TOTOメンテナンス（株）修理受付センターへ
TEL 0120−1010−05
FAX 0120−1010−02

補修用部品のご購入は・・・
TOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターへ
TEL 0120−8282−55
FAX 0120−8272−99

インターネットホームページ http://www.toto.co.jp/

※この施工・取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。